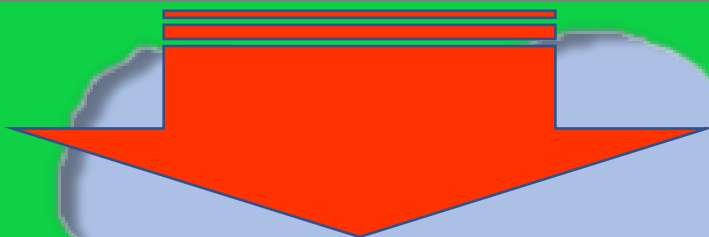


医療機器安全講習

ご使用の医療機器について不安はありませんか？

- 使い方が良くわからない
- 医療機器について頼れる人が周りにいない
- アラーム発生時の対応に自信がない
- 医療機器にはなるべく関わりたくないと思っている
- 点検されているかどうかわからない
- 点検方法を知りたい
- 医療機器管理を始めたいが何から始めたらいいかわからない



訪問講習が無料で受けられます



公益社団法人 北海道臨床工学技士会
公益事業推進委員会では、医療機器の
取扱いに関する啓蒙活動を行っております。
私たちは、医療機器の適正使用が安全な
医療提供に繋がると考えており、これを使命
としています。ご要望の際には皆様の地域に
駆け付け、お力添えをさせていただきます。

医療機器安全講習のメリット

講師は医療機器の
スペシャリストである
臨床工学技士!

講習は無償! 費用
は一切かかりません!

北海道内ご依頼の
施設へ訪問します!

- 医療機器を取り扱うすべての施設を対象としています
- 正しい使用方法、アラーム対応、安全対策が学べる
- 施設に合わせたメンテナンスや管理方法を提案します

申し込みフォームQRコード



申し込みフォーム：
http://http://hcea.umin.ac.jp/cgi-bin/mekiki_lesson/postmail.html

臨床工学技士の主なしごと

医療機器管理業務



病院にあるたくさんの医療機器の管理も臨床工学技士が行っています。現在普及の進んでいるAEDの保守管理も重要な業務の一つです。

人工心肺業務



手術時に一時的に心臓の機能を止めなければならない時に使用されるのが人工心肺装置です。人工心肺装置の操作は高度な技術が要求される業務です。

透析室業務



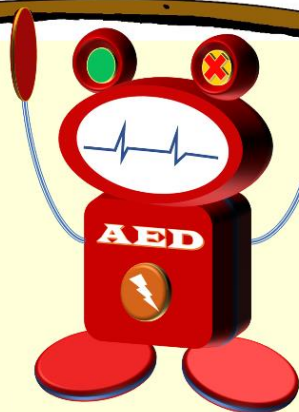
慢性的に腎臓の機能を失ってしまった患者さんへの血液透析をはじめ、血漿交換など各種血液浄化療法に対応しています。

集中治療室業務



集中治療室では、患者さんの命を救うべくあらゆる治療が行われます。人工呼吸器やECMOなど、医療機器の操作や管理を行い、医師や看護師とチームで治療にあたります。

臨床工学技士って、病院内でどのような仕事をしているのでしょうか？
ごく一部ですがご紹介します。
医療施設では臨床工学技士でなければ担えない命に関わる重要な仕事がたくさんあります。



心臓カテーテル検査業務



心筋梗塞や不整脈などの病気では、心臓カテーテル検査・治療が行われます。治療に使用される機器の操作を行い、必要時には心肺補助装置などの高度な医療機器の操作も行います。

手術室業務



手術室には特殊な医療機器が多く、それらの操作、保守を行っています。近年増えつつあるロボット手術において、重要な責務を担っています。

ペースメーカー業務



心臓の機能が弱くなり十分な心拍数が得られなくなった患者さんには、ペースメーカーが装着されます。設定には特殊な装置が必要で、専門知識をもって治療を行います。

高気圧酸素治療業務



高気圧酸素治療装置は、高い気圧環境下で高濃度の酸素を投与する装置で、一酸化炭素中毒や低酸素脳症、潜水病などの治療を行います。